

2020年度

事業報告書

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店.....	5
2. 美術品の収集、保管及び修復.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の保管・修復.....	6
(3) 美術品の寄贈受入.....	6
(4) 美術品の寄託受入.....	6
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース	7
(3) 研究資料の整備	7
(4) 学術プロジェクトへの参加.....	7
(5) 美術品の閲覧.....	8
4. 教育普及.....	9
(1) 催事.....	9
(2) インターネットによる広報.....	9
(3) プレスリリース	9
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	10
(5) 内覧会・レセプション	10
(6) 施設案内パンフレット	10
(7) 他美術館との協力.....	10
(8) 地域との連携.....	10
(9) 有料広告	11
(10) 根津倶楽部.....	11
(11) NEZUNET	11
(12) 青山茶会.....	11
(13) 美術品の館外貸出.....	11
(14) 画像の貸出.....	12
(15) 施設の貸与.....	13

II	収益事業.....	13
	【事業の概要】	13
	1. 不動産事業.....	13
III	庶務の概要.....	13
	1. 役員.....	13
	2. 職員.....	14
	3. 役員会	15
	(1) 理事会	15
	(2) 評議員会.....	16
IV	事業報告の附属明細書	17

I 公益事業

【事業の趣旨】

1940年（昭和15年）11月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年10月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

本年度もその理念に基づき、当初特別展2回と所蔵美術品による企画展5回の開催を計画したが、新型コロナウイルス対策の万全を期すため、後記のように3展覧会を中止するとともに、開催した4展覧会に関連した講演会、会員向けプログラム、施設を利用した催事などをすべて中止した。

所蔵美術品の調査研究を行い、その成果を館内外での発表や、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、修復などによる美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

2009年（平成21年）10月に新創開館した本館は地上2階（展示室1～6など）、地下1階（講堂など）。1990年に建設した展示施設を2007年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上2階、地下1階からなる。2009年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館2階屋根上の252枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室4棟があり、各所に石造物約150件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

（1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始、および、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館期間（3展覧会計105日間）を除く毎日開館した。また、再開館にあたり、入館者数のコントロールと、事前決済による受付のスムーズ化を目的として、オンライン日時指定予約制を導入した。

入館料は、特別展の場合一般1,300円、学生1,000円、企画展では一般1,100円、学生800円としていたが、特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」より、特別展一般1,500円、学生1,200円、企画展一般1,300円、学生1,000円に変更し、いずれも中学生以下は無料とした。また、オンライン日時指定予約の利用促進のため、企画展「狩野派と土佐派―幕府・宮廷の絵師たち―」より、予約をしていない来館者には、上記の入館料に一律100円を上乗せすることとした。障害者手帳提示者と同伴1名及び運転経歴証明書提示者へは1名につき200円の割引を行ったが、次回展の前売券（200円割引）の販売は中止した。また、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者1名を無料とした。

2020年度は、開館日数計133日間に、来館者49,198名（うち有料来館42,270名）を迎えた。

1階展示室1・2では、下記の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室5では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室6では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール～展示室3「仏教美術の魅力」では、展示室3に木彫仏（明王像2軀・天部像1軀、特別展時には重要文化財の金銅仏・木彫地藏菩薩像・金銅鉢、1月以降は如来像1軀・菩薩像3軀に展示替え）を展示した。

展示室4「古代中国の青銅器」は2013年度より、展示作品の一部にテーマ性のある展示を行っており、今年度は「鏡のはじまり」、1月9日から「華やかな文様意匠」のテーマで中国の鏡を展示した。

特別展および企画展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録、関連する所蔵品図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

・特別展「国宝 燕子花図屏風 ー色彩の誘惑ー」 展示室1・2

2020年4月18日(土)～5月17日(日) 展示日数27日間

同時開催「はじめての古美術鑑賞 ー能装束の技の美ー」 展示室5

「燕子花図屏風の茶会」 展示室6

入館者 0名(有料 0名) *新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため中止

・企画展「茶入と茶碗 ー『大正名器鑑』の世界ー」 展示室1・2

2020年5月30日(土)～7月12日(日) 展示日数38日間

同時開催「武人画家」 展示室5

「梅雨時の茶」 展示室6

入館者 0名(有料 0名) *新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため中止

・企画展「花を愛で、月を望む ー日本の自然と美ー」 展示室1・2

2020年7月23日(木・祝)～9月6日(日) 展示日数40日間

同時開催「つわものの姿」 展示室5

「夏手前 ー涼みの茶ー」 展示室6

入館者 0名(有料 0名) *新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館のため中止

・企画展「モノクロームの冒険 ー日本近世の水墨と白描ー」 展示室1・2

2020年9月19日(土)～11月3日(火・祝) 展示日数39日間

同時開催「陶片から学ぶ」 展示室5

「秋寂の茶」 展示室6

入館者 10,402名(有料 8,850名)

・財団創立80周年記念特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」

展示室1・2・3・4・5・6・ホール

2020年11月14日(土)～12月20日(日) 展示日数32日間

入館者 19,664名(有料 17,203名)

・企画展「きらきらでん」 展示室1・2

2021年1月9日(土)～2月14日(日) 展示日数32日間

同時開催「百椿図 ー公家日記の中の椿ー」 展示室5

「点初め」 展示室6

入館者 9,090名(有料 7,634名)

・企画展「狩野派と土佐派ー幕府・宮廷の絵師たちー」 展示室1・2

2021年2月25日(木)～3月31日(水) 展示日数30日間

同時開催「変化のものがたり ーお伽草子二題ー」 展示室5

「雛祭りの茶」 展示室6

入館者 10,042 名（有料 8,583 名）

なお、近年外国人入館者の割合が顕著な増加傾向を示していたが、本年度は新型コロナウイルスの影響で激減した。過去五年間の年間平均の推移は以下の通り。

2016 年度	15.9%
2017 年度	23.7%
2018 年度	26.1%
2019 年度	27.3%
2020 年度	4.1%

一方、在京外国公館からの入館者数には大きな変動はなかった。

（2）日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度は、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

また 2013 年 10 月より、原則毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催していたが、本年度は新型コロナウイルス流行に伴い、見学会を実施しなかった。

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟 7 年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力は例年通り行った。定期会合（オンライン開催）を通じた意見交換などの活動に参加。昨年に続き、紅葉の時期には茶室周辺の茶庭の開放と Twitter フォトギャラリーを実施。新型コロナウイルス流行や、美術館入館が予約制となった中でも、昨年同様の投稿があり、身近に自然の移り変わりを楽しむ場としてのニーズが逆に高まっているように感じられた。

（3）ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに製作したオリジナル商品は 4 品目 11 種。新しい品目として、「燕子花図」をモチーフに、香り箱を作成した。

（4）喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFÉ は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行ってきたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、メニューは軽食類を休止し、飲み物とケーキに限定した。また座席数を約半分にへらし、座席間のアクリル板を設置、さらに閉店時間を 30 分早めて、店内の掃除・消毒を徹底できるようにした。

2. 美術品の収集、保管及び修復

(1) 美術品の購入

本年度、美術品の購入はなかった。

(2) 美術品の保管・修復

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（5月18日～6月18日、10月2日～22日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間4回（4月2日～4日、5月19日～20日、12月22日～24日、2月16日～17日）行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性がある作品の被覆燻蒸施工を、年間1回（5月19日～22日）行った。
- ④ 壁付展示ケースのメンテナンス作業（4月1日）を行った。
- ⑤ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計測（10月2日～4日）を行った。
- ⑥ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、11月11日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計24台のバッテリー交換を行った。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間2回（5月18日～6月18日、10月2日～22日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を1回（11月20日）、除塵防黴作業を1回（3月25日～26日及び3月30日～31日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、11月13日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計15台のバッテリー交換を行った。

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

① 国庫補助修理

本年度、国庫補助修理はなかった。

② 自費修理

重要美術品	紺紙銀字華嚴経卷第五十二（二月堂焼経）	1巻	半田九清堂
邸内遊楽図・詠歌短冊貼交屏風		6曲1双	半田九清堂
蓬萊蒔絵手箱		1合	目白漆芸
紗綾地芒扇面散し模様縫箔		1領	共立女子大学
刀剣手入		170振	本阿弥雅夫

(3) 美術品の寄贈受入

本年度、美術品の寄贈はなかった。

(4) 美術品の寄託受入

本年度、下記の美術品の寄託を受け入れた。

青磁刻花牡丹文水注

1口

有限会社三事保全社

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品および展覧会に関わる調査・研究を行い、新たな知見を館内での講演会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要および所蔵品図録を出版した。所蔵品図録では、これまでの「蔵品選」全4冊にかわる「新蔵品選」全12冊（予定）の刊行を開始、第1冊として「国宝・重要文化財」編を、財団創立80周年記念特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」の開催にあわせて発行した。

① 紀要

『根津美術館紀要 此君 第12号 特集 根津美術館の近世風俗図屏風』

2021年3月30日発行

800部

② 所蔵品図録

『根津美術館 新蔵品選 国宝・重要文化財』2020年11月13日発行

3,000部

『百椿図』第5刷

2021年1月8日発行

2,000部

(2) データベース

2009年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で1名雇用し、下記の作業を行った。

① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。

② 新規撮影したデジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト2名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、紀要報告書の曝書（蔵書点検）と、データの見直し及び修正を終了した。また、館蔵品の掲載確認、データ入力を行った。

② 美術館・博物館など225機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など851冊を受贈した。

③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、219冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

・学術研究誌および単行本上に、下記の通り、当館学芸員が研究成果を発表した。

松原 茂 「新出の狩野養信筆『翁三番叟千歳図』について—御用絵師の業務としての製作—」『在外日本学関係資料の調査研究』辻英子編著、汲古書院

野口 剛 「夢のはじまり—近世後期の京都画壇と近代—」展覧会図録『京都の美術 250年の夢』、京都市美術館

「伊勢参宮道中図屏風」『国華』1495号

「応挙の花鳥画と中国絵画—若冲の場合と比較しつつ—」『日本美術のつくられ方—佐藤康宏先生の退職によせて』、羽鳥書店

「根津嘉一郎の屏風絵蒐集—山中商会・山中定次郎との関わりを中心に—」『根津

美術館紀要 此君』第 12 号

白原由起子 「1936 年刊行の日本語版〈美術史の基礎概念〉と日本美術研究」『ハインリッヒ・ヴェルフリン〈美術史の基礎概念〉の世界的受容』、National Gallery of Art, Washington

永田智世 「館蔵品研究『菩薩蒔絵香箱』をめぐって—明治十年（一八七七）前後の小川松民」『根津美術館紀要 此君』第 12 号

玉井あや 「館蔵品研究『白地青海波に扇面散文様縫箔』の製作年代に関する一考察」『根津美術館紀要 此君』第 12 号

- ・館外の研究・教育機関の依頼により、下記の通り当館学芸員が講演を行った。

永田智世 会津塗技術保存会 演題「漆工芸品のデザイン 螺鈿編」

- ・文部科学省および各教育委員会などの要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、保存、国家補償、国際文化交流に関わる会議に委員として参画した。

西田宏子 佐賀県文化財保護審議会

本田 諭 足利市文化財専門委員会

宇都宮市文化財保護審議委員会

白原由起子 文化庁文化審議会（美術品補償制度部会）専門調査会

永田智世 文化庁 文化財研修事業（伝統工芸・文化財保存技術）企画選定委員会

- ・独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員および委嘱者として参画した。

西田宏子 山口県立萩美術館・浦上記念館 美術品収集審査会

松原 茂 三の丸尚蔵館管理運営懇談会

宮内庁 皇室用美術工芸品修理指導

東京国立博物館有形文化財買取協議会（常任委員）

千葉市美術品等収集審査会

本田 諭 静岡県立美術館 臨時資料評価

- ・文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記の通り、当館学芸員が、学術研究に参画した。

本田 諭 栃木県立博物館 調査研究協力

永田智世 文化庁文化財第一課 非常勤調査員

（5）美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、かつ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 16 件の研究に協力した。

閲覧日	所属	閲覧作品
[2020 年]		
4 月 8 日	文化庁（1 名）	「色々威腹巻」
7 月 22 日	東京国立博物館（1 名）	重要文化財「鼠志野茶碗 銘 山の端」 他 1 件

7月25日	大阪大学（1名）	「邸内遊楽図・詠歌短冊貼交屏風」
7月25日	大阪電気通信大学（5名）	庭園内 池畔の礎石
7月30日	九州歴史博物館（1名）	「古芦屋八角尾垂釜」 他1件
8月6日	東京国立博物館（2名）	「白衣観音図」赤脚子筆 他2件
8月21日	慶應義塾大学（2名）	「聖徳太子絵伝」
9月19日	室瀬和美氏（1名）	「楼閣人物螺鈿箱」
10月13日	岡山県立美術館（2名）	「山水図」拙宗等揚筆 他1件
10月16日	東京国立博物館（1名）	「鉄釉皿」 他6件
11月25日	出光美術館（1名）	重要美術品「油滴天目」 他4件
12月4日	静嘉堂文庫美術館（1名）	「開扇蒔絵香合」 他1件
12月13日	大阪電気通信大学（1名）	茶室（4棟）
12月19日	芦屋釜の里（3名）	「桐紋釜」 他1件
[2021年]		
3月18日	和泉市久保惣記念美術館（2名）	「酒呑童子絵巻」
3月24日	同志社大学（1名）	「麒麟亀龍図」伝尾形光琳筆 他2件
		計16件 閲覧者26名 作品総数35件

4. 教育普及

（1）催事

例年は、展覧会に関連して館内外の講師による講演会、および担当学芸員によるスライドレクチャーを行っていたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、すべて中止した。

同様に、特別企画催事は無料、有料ともに行わなかった。

（2）インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<http://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は765,143アクセス(昨年度1,356,000アクセス)、ユーザー数は510,540名(昨年度922,936名)。年間入館者数が昨年度の5分の1程度であったのに対し、ウェブサイトの閲覧者は昨年度の半分強を維持している。また、ユーザーのうち約10%が日本語以外の言語環境(昨年度15%)、また約4.5%が日本以外の地域(昨年度8%)からアクセスしている。

ウェブサイトに加え情報発信ツールとして利用しているFacebookのフォロワー数は期初の約37,000名から約40,000名に増加した。Twitterでのフォロワー数も期初の約32,000名から約35,000名となった。中止になった展覧会の期間中は、展示予定の作品に関する投稿や、庭園の季節の見どころなどの情報の投稿を積極的に行った。毎年多くの来館者でにぎわう庭園のカキツバタに関しては、Twitter上で過去に当館で撮影したカキツバタ画像をシェアする呼びかけを行ったところ、多数の投稿を得ることができた。

（3）プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。さらに

国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に努めた。また、タイムリーな情報提供と環境負荷の低減の観点から、希望者に対しては広報資料のメール配信を郵送に代えて開始した。

(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動を行い、さらに、外国人集客に力を入れている東京都や観光庁の旅行案内所、都内主要ホテルへのチラシの定期提供ルートも引き続き開拓した。

(5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日（年度内4回）に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、特別展での特別内覧会及びレセプションは開催しなかった。

- ・企画展「モノクロームの冒険ー日本近世の水墨と白描ー」：9月18日（金）

記者内覧会 出席者 45名

- ・財団創立80周年記念特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」：11月13日（金）

記者内覧会 出席者 65名

- ・企画展「きらきらでん」：1月8日（金）

記者内覧会 出席者 47名

- ・企画展「狩野派と土佐派ー幕府・宮廷の絵師たちー」：2月24日（水）

記者内覧会 出席者 62名

(6) 施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

(7) 他美術館との協力

- ・例年実施してきた三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンは各館と協議の結果中止とした。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

(8) 地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年2回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校3年生の「総合」学習授業での来館や、区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課 Go!クラブ」の児童の展示見学受け入れは、新型コロナウイルス感染症拡大のため行われなかったが、再開を目指して引き続き情報提供などを継続した。

(9) 有料広告

・開催4展覧会で新聞広告を実施した。

企画展「モノクロームの冒険ー日本近世の水墨と白描ー」 (朝日夕刊)

財団創立80周年記念特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」

(朝日朝刊・朝日夕刊・日経夕刊・読売夕刊)

企画展「きらきらでん」 (朝日夕刊)

企画展「狩野派と土佐派ー幕府・宮廷の絵師たちー」 (朝日夕刊)

・本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター(チラシ配布用ポケット付)掲示を、4展覧会においてそれぞれ2週間ずつ実施した。これを通じ、駅利用者に毎回300枚~400枚程度のチラシを配布することができた。

(10) 根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年(平成21年)に開始した会員組織である。2012年(平成24年)の第1回の制度改定に続き、2019年(平成31年)に美術館新創開館10周年を迎えるにあたり、第2回の制度改定を行なった。2020年2月末より新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う臨時休館となったため、展示再開の9月19日より前年度入会済会員の有効期限を7ヶ月延長する特別措置を実施。2020年度末の会員数は750名となった。

(11) NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」(会費無料)は、新創開館以来会員数が増え続け、2020年度は新たに458件のメールアドレス登録があり、年度末現在の会員数(メールアドレス登録件数)は8,477名となった。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館等のお知らせを含め、10回メールマガジンを配信した。

(12) 青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。

本年度は年度初より新型コロナウイルス感染症流行を受け、年度を通して一切の催事が行えないと判断し、一旦会の組織を解散したため、一切の活動を行わなかった。

(13) 美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

・特別展「きもの KIMONO」 東京国立博物館

会期：6月30日(火)~8月23日(日)

10326 誰が袖図屏風 6曲1双

10328 誰が袖美人図屏風 6曲1双

計2件4点

・特別展「桃山一天下人の100年」 東京国立博物館

会期：10月6日(火)~11月29日(日)

10625 重要美術品 観瀑図 式部輝忠筆 1幅

40347 重要文化財 青磁筒花入 銘 大内筒 1口

- | | | | | | |
|-------------------------------------|-------|---------|--------------|----------|-----------|
| 40140 | 重要文化財 | 鼠志野茶碗 | 銘 山の端 | 1 口 | |
| 40463 | | 黄瀬戸宝珠香合 | | 1 口 | 計 4 件 4 点 |
| ・特別展「福岡の至宝に見る信仰と美」 九州歴史博物館 | | | | | |
| 会期：10月6日（火）～11月29日（日） | | | | | |
| 30198 | | 瀟湘八景図 | 八角尾垂釜 | 1 口 | |
| 60039 | | 茶杓 共筒 | 銘 竹鶯（細川三斎作） | 1 本 | 計 2 件 2 点 |
| ・開館記念展「京都の美術 250 年の夢 | | | | | |
| 第 1 部～第 3 部総集編—江戸から現代へ—」京都市京セラ美術館 | | | | | |
| 会期：10月10日（土）～12月6日（日） | | | | | |
| 10323 | | 藤花図屏風 | | 6 曲 1 双 | 計 1 件 2 点 |
| ・「埋忠〈UMETADA〉桃山刀剣界の雄」 大阪歴史博物館 | | | | | |
| 会期：10月31日（土）～12月14日（月） | | | | | |
| 80115 | | 短刀 | 銘 城州埋忠作 | 天正十八年十月日 | 1 口 |
| 80117 | | 脇指 | 銘 剗物埋忠七左（花押） | | 1 口 |
| 80129 | | 脇指 | 銘 美平／延寶三霜月日 | | 1 口 |
| | | | | | 計 3 件 3 点 |
| ・企画展「琳派と印象派—東西都市文化が生んだ美術」 アーティゾン美術館 | | | | | |
| 会期：11月14日（土）～1月24日（日） | | | | | |
| 10518 | | 白楽天図屏風 | 尾形光琳筆 | 6 曲 1 隻 | |
| 40673 | | 鏤絵梅図角皿 | 尾形光琳・乾山作 | | 1 枚 |
| 50036 | | 業平蒔絵硯箱 | 伝尾形光琳作 | | 1 合 |
| | | | | | 計 3 件 3 点 |
| ・「埋忠〈UMETADA〉桃山刀剣界の雄」 刀剣博物館 | | | | | |
| 会期：1月9日（土）～2月21日（日） | | | | | |
| 80115 | | 短刀 | 銘 城州埋忠作 | 天正十八年十月日 | 1 口 |
| 80117 | | 脇指 | 銘 剗物埋忠七左（花押） | | 1 口 |
| 80129 | | 脇指 | 銘 美平／延寶三霜月日 | | 1 口 |
| | | | | | 計 3 件 3 点 |
| ・特別展「雪舟と玉堂 二人の里帰り」 岡山県立美術館 | | | | | |
| 会期：2月10日（水）～3月14日（日） | | | | | |
| 10589 | | 山水図 | 拙宗等揚筆 | | 1 幅 |
| 10700 | | 潑墨山水図 | 拙宗等揚筆 | | 1 幅 |
| | | | | | 計 2 件 2 点 |
| 合計 8ヶ所 18件 21点 | | | | | |

（14）画像の貸出

本年度は、178 件の申請を受け、325 点の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図 63 件、那智瀧図 8 件、夏秋溪流図 7 件、肩衝茶入銘松屋 7 件、青磁筒形瓶 銘大内筒 5 件、白楽天図 4 件。

(15) 施設の貸与

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行を受け、館外向けの講堂・茶室等の施設貸与は一切行わなかった。

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。他に、サンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTT ドコモの移動通信設備設置料等の収入があった。

III 庶務の概要

1. 役員

2021年3月31日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界 関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	2020年6月26日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務理事	非常勤	矢野 恵一	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 常務理事	なし	〃
理事	非常勤	島尾 新	2020年6月26日 (2012年4月1日)	学習院大学 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	渡邊 喜雄	2020年6月26日 (2014年5月30日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	2020年6月26日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	岡橋 輝和	2020年6月26日 (2020年6月26日)	山九株式会社 社外取締役	なし	〃
〃	常勤	松原 茂	2020年6月26日 (2014年5月30日)	公益財団法人根津美術館 学芸部長	なし	〃
〃	常勤	柳瀬 茂	2020年6月26日 (2018年5月28日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
		8名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし

”	非常勤	中瀬 雅通	2020年6月26日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 相談役	”	”
		2名				
評議員	非常勤	小林 喬	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 特別顧問	保険業	なし
”	非常勤	正田 修	2020年6月26日 (2012年4月1日)	(株)日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	”
”	非常勤	根津 嘉澄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	”
”	非常勤	秋山 智史	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	”
”	非常勤	堀内 光一郎	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	”
”	非常勤	安田 正	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	”	”
”	非常勤	田村 妙子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
”	非常勤	徳川 義崇	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	”
”	非常勤	根津 后方子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	”
”	非常勤	近藤 誠一	2020年6月26日 (2014年3月19日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	2013年7月
”	非常勤	河田 正也	2020年6月26日 (2017年5月24日)	日清紡ホールディングス(株) 代表取締役会長	なし	なし
”	非常勤	池田 康夫	2021年3月27日 (2021年3月27日)	学校法人根津育英会武蔵学園 副理事長 兼 学園長代行	学校教育	”
		12名				

2. 職員

2021年3月31日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	2000年1月4日	総括
学芸部長	常勤	松原 茂	2008年10月1日	日本書画史・学芸部総括
学芸部次長 兼学芸第一課長	常勤	野口 剛	2008年10月1日	近世絵画史・情報管理
学芸第二課長	常勤	本田 諭	2018年4月1日	中世絵画史・環境整備
学芸第一課	常勤	下村 奈穂子	2014年9月1日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常勤	玉井 あや	2020年4月1日	染織史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常勤	福島 洋子	2009年4月1日	墨跡・図書管理・学芸庶務
学芸第二課	常勤	永田 智世	2018年4月1日	漆工史・茶道・学芸庶務

学芸部次長 [広報担当]	常勤	所 純 子	2012年12月1日	広報全般
学芸部広報課長	常勤	村 岡 香代子	2013年1月1日	広 報
学芸部広報課	常勤	荒 川 麻美子	2009年4月1日	ショップ・画像管理
管 理 部 長	常勤	柳 瀬 茂	2018年1月1日	管 理 部 総 括
管理部次長	常勤	鈴 木 康 生	2001年4月11日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常勤	藤 江 暁	2019年10月1日	設備管理・顧客サービス
管 理 部	常勤	田 中 智 子	1990年9月1日	総 務
管 理 部	常勤	松 井 麻 美	2009年4月1日	顧 客
管 理 部	常勤	須 田 瑛 生	2014年3月1日	総務・会計・茶道
管 理 部	常勤	高 室 修	1975年3月1日	施設管理
		職員 18 名	他に臨時職員 25 名	

顧 問	非常勤	矢 野 恵 一	2012年12月1日	全 般
顧 問	常勤	西 田 宏 子	2014年6月1日	学 芸 部
顧 問	非常勤	宇田川 真紀雄	2016年4月1日	全 般
		顧問 3 名		

3. 役員会

(1) 理事会

決議があったものとみなされた日 2020年6月26日（金）

決議があったものとみなされた事項

- ① 第1号議案 2019年度事業報告の件
- ② 第2号議案 2019年度正味財産増減決算の件

2020年6月9日、根津公一理事長が理事全員及び監事の全員に対して、書面により理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2020年6月26日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号議案）を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日 2020年6月26日（金）

決議があったものとみなされた事項

- ① 第1号議案 理事長選任の件
- ② 第2号議案 常務理事選任の件

2020年6月9日、柳瀬茂理事が理事全員及び監事の全員に対して、書面により理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2020年6月26日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号議案）を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

決議があったものとみなされた日 2020年9月2日（土）

決議があったものとみなされた事項

- ① 第1号議案 入館券販売サイト利用規約制定の件
- ② 第2号議案 日本殖産興業株式会社への寄付金要請の件

2020年8月21日、根津公一理事長が理事全員及び監事の全員に対して、書面により理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2020年9月2日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号議案）を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

開催日 2021年3月10日（水）

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

- ① 第1号議案 2021年度事業計画の件
理事長より、同案についての内容説明があった。
渡邊理事より、収益事業内不動産事業に関して、貸しビルのテナントの入居状況について質問があった。そのほか質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。
- ② 第2号議案 2021年度正味財産増減予算の件
事務局より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

- ① 理事長の業務の執行状況の件
根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。
- ② 常務理事の業務の執行状況の件
矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。
- ③ 2020年度事業計画書・正味財産増減予算書の内容振り返りと決算見込について
事務局より、本年度事業計画及び予算の進捗状況について報告があった。
- ④ NTTによるNTTドコモTOBに伴う特定資産取崩し並びに再度積み立てについて
事務局より、当財団はNTTドコモ株式を特定資産として保有していたため、NTTによるNTTドコモTOBに伴い、この公開買い付けに応募、その後精算金を受領し、全額を定期預金として即時積み立てを行った旨の報告があった。中瀬監事より、収益率の高い運用方法の検討について提案があり、理事長より元本回収率の高さを優先したい旨の回答があった。

（2）評議員会

決議があったものとみなされた日 2020年6月26日（金）

決議があったものとみなされた事項

- ① 第1号議案 2019年度事業報告の件
- ② 第2号議案 2019年度正味財産増減決算の件
- ③ 第3号議案 理事選任の件
- ④ 第4号議案 監事選任の件
- ⑤ 第5号議案 評議員選任の件

2020年6月9日、根津公一理事長が評議員全員及び監事の全員に対して、書面により評議員の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2020年6月26日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得

たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項に基づき評議員の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号、3号、4号、5号）を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

開催日 2021年3月24日（水）

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

① 第1号議案 2021年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。

質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

② 第2号議案 2021年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。

質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

③ 第3号議案 評議員1名（池田康夫）選任の件

理事長より、同案についての内容説明があった。

審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 2020年度事業計画書・正味財産増減予算書の内容振り返りと決算見込について

事務局より、本年度事業計画及び予算の進捗状況について報告があった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。